

日本応用心理学会第71回大会第1日目に理事会、第2日目に総会が開かれた。常任理事会提出の原案は理事会においてすべて承認された。また、会員総会においても理事会承認事項がすべて承認された。

2004年度理事会議事録

日 時：2004年9月4日(土)

午前11時30分～午後1時

場 所：日本大学商学部会議室

出席者：(常任理事) 岡村一成理事長、嘉部和夫副理事長、浮谷秀一、大橋信夫、荻野七重、垣本由紀子、神作 博、坂野 登、田之内厚三、外島 裕、内藤哲雄、馬場房子、林 潔、藤田主一、星野仁彦、南 隆男
(理事) 尾入正哲、鎌形みや子、久米 稔、鈴木康平、田中真介、谷口泰富、玉井 寛、土屋明夫、松下由美子、松田浩平、松山欽子、向井希宏、森下高治、八木孝彦、吉田 悟

委任状：(常任理事) 鈴木由紀生、所 正文、長塚康弘、松浦常夫、蓮花一己 (理事) 秋葉英則、上野 轟、大山俊男、小野浩一、川邊 譲、神田久男、桐生正幸、佐藤啓子、手塚太郎、渡辺昭一

陪 席：(名誉会員) 内海 滉、大久保康彦、太田垣瑞一郎、大村政男、高嶋正士、中村昭之、正田 亘、森 重敏、山岡 淳

事務局：浮谷秀一(事務局長)、伊波和恵(幹事)

I. 理事長挨拶

- Webを利用した大会への研究発表申し込みおよび参加申し込みを実施した。
- 倫理委員会、若手研究者支援委員会を設置した。
- 会員名簿作成作業中である。

II. 報告事項

1. 嘉部和夫第71回大会委員長挨拶

- トークイン、ラウンドテーブル、ポスター発表と、大会での発表形式を多様化する試みを行った。
- 予約参加者148名、当日参加者45名。

2. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会(荻野委員長)

- 「応用心理学研究」2003年度分29巻1号、2号を発行した。30巻1号を2004年10月に発行予定。なお、30巻1号には、松村康平先生の追悼文を掲載する。
- 投稿論文の審査状況について説明があり、論文投稿の依頼があった。
- 国際応用心理学会発表論文による投稿論文集の発行について説明があった。8編の投稿があり、現在審査中である。30巻2号に掲載予定、2004年12月発行予定である。

2) 認定「応用心理士」認定審査委員会(馬場委員長)

- 2004年度前期は12名の申請があり、11名を認定した。
- 2004年度後期の受付期間は10月1日～11月30日。

3) 学会賞・奨励賞選考委員会(垣本委員長)

- 学会賞には2名の推薦があり、審議の結果、所 正文氏の受賞を決定した。

学会賞対象研究：著書「働く者の生涯発達—働くことと生きること—」(白桃書房、2002)

“An overconfidence approach on driving attitude of older driver” 2002 交通心理学研究, 17(1), 58-62.

- 奨励賞については、「該当者なし」とした。

4) 国際交流委員会(代理：浮谷事務局長)

- 5月15日(土)に、委員会に関わる業務を行った。

5) シンポジウム委員会(代理：大橋委員)

- 「高齢化時代の健康とスポーツ(仮)」をテーマとしたシンポジウムを、所常任理事を中心として企画中である。
- 2004年12月25日(土) 国士舘大学(世田谷キャンパス・中央図書館地下多目的ホール)において開催予定である。現在はパネリスト等を調整中である。

6) 研修委員会(林委員長)

- 第72回大会における第3回研修会の開催について説明があった。

- 7) 広報委員会 (藤田委員長)
 - ・2003 年度は、年度内に第 9 号、第 10 号が発行された (年 2 回発行予定)。
 - ・第 11 号には大会終了報告を掲載予定。第 12 号は 3 月に発行予定。
 - 8) 倫理委員会 (藤田委員長)
 - ・委員会を構成する委員が決定したので、倫理委員会として正式に発足した。
 - 委員長: 藤田主一 委員: 大坊郁夫, 松下由美子, 内藤哲雄, 田中真介, 山本 寛
 - 9) 諸規程整備検討委員会 (浮谷委員長)
 - ・名誉会員規程について説明があり、名誉会員として推薦する時期が確認された。
 - ・今後は、選挙規程などについて、順次検討していく予定である。
 - 10) 若手研究者支援委員会 (嘉部委員長)
 - ・発足の経緯について、確認の意味も含めて説明があった。
 3. 2003 年度第 70 回大会報告
(森下大会委員長)
 - ・資料に基づいて会計報告など説明があった。
 4. 日本心理学諸学会連合について
(岡村理事長)
 - ・心理学検定試験の実施を検討していることが報告された。
 5. 2005 年度第 72 回大会について
(星野大会委員長)
 - ・9 月 3 日(土)・4 日(日)に福島学院大学において開催する。
 6. その他 (事務局)
 - ・会員名簿を作成中である。
 - ・若手育成のための寄付について、理事長が森下氏へ謝辞を述べた。
 - ・名誉会員の松村康平先生がご逝去されたことが報告された。
- III. 審議事項
1. 2003 年度決算について (浮谷事務局長)
 - ・資料に基づいて決算の説明があり、承認された。
 2. 2004 年度予算案について (浮谷事務局長)
 - ・資料に基づいて予算案の説明があり、承認された。
 3. 名誉会員の推薦について (岡村理事長)
 - ・林潔氏を名誉会員として推薦することを決定した。
 4. 新入会員審査および会員異動について
 - ・新入会員申し込みのあった下記の 4 名について審査、全員を承認。
柏木恵子, 伊坂裕子, 佐藤初美, 谷岡美佐枝
 5. 2006 年度第 73 回大会開催校について
 - ・文京学院大学において、柏木恵子氏を大会委員長として開催されることが報告され、承認された。
 - ・柏木氏に代わって、文京学院大学の松田浩平理事より挨拶があった。
 6. その他 (岡村理事長)
 - ・次年度以降、年次大会会期中の会議等の開催日程の変更が提案され、以下のように承認された。
- 理 事 会: 大会前日夕方
総 会: 大会 1 日目昼
懇 親 会: 大会 1 日目夜
常任理事会: 大会 2 日目昼
- 2004 年度会員総会議事録**
- 日 時: 2004 年 9 月 5 日(日)
午前 11 時 30 分～午後 12 時 45 分
場 所: 日本大学商学部 131 教室
1. 理事長挨拶 (岡村理事長)
 2. 第 71 回大会委員長挨拶 (嘉部大会委員長)
 3. 議長選出 嘉部大会委員長を選出
 4. 報告事項
 - (1) 事業報告
 - 1) 会員の異動および会費納入状況
(浮谷事務局長)
 - 2) 委員会報告
 - ①機関誌編集委員会 (荻野委員長)
 - ②認定「応用心理士」認定審査委員会
(馬場委員長)
 - ③学会賞・奨励賞選考委員会 (垣本委員長)
 - ④国際交流委員会 (代理: 浮谷事務局長)
 - ⑤シンポジウム委員会 (代理: 浮谷事務局長)
 - ⑥研修委員会 (林委員長)
 - ⑦広報委員会 (藤田委員長)
 - ⑧倫理委員会 (藤田委員長)

⑨諸規程整備検討委員会（浮谷委員長）

⑩若手研究者支援委員会（嘉部委員長）

(3) 2003 年度第 70 回大会報告

（森下大会委員長）

(4) 日本心理学諸学会連合について

（岡村理事長）

(5) その他

5. 審議事項

(1) 2003 年度決算について（浮谷事務局長）

(2) 2004 年度予算について（浮谷事務局長）

(3) 名誉会員の推戴（岡村理事長）

- ・常任理事会において、林 潔氏が名誉会員として推戴されたことが報告され、承認された。

(4) 2006 年度第 73 回大会当番機関に関する件

（岡村理事長）

(5) その他

6. 2005 年度第 72 回大会開催校代表者挨拶

（福島学院大学 星野仁彦大会委員長）

7. 名誉会員推戴式

8. 議長解任

- ・第 71 回大会参加人数および決算報告 別掲
- ・2003 年度決算書 別掲
- ・2004 年度予算書 別掲
- ・名誉会員規程 別掲

2004 年度第 3 回常任理事会議事録

日 時：2004 年 10 月 22 日（金）

午後 6 時～午後 8 時

場 所：東京富士大学本館第二会議室

出席者：岡村一成理事長、稲毛教子、浮谷秀一、荻野七重、柏木恵子、所 正文、外島 裕、内藤哲雄、長塚康弘、馬場房子、林 潔、藤田主一、松浦常夫、南 隆男、蓮花一己
委任状：大橋信夫、垣本由紀子、神作 博、坂野登、鈴木由紀生、田之内厚三、細江達郎
事務局：浮谷秀一（事務局長）、伊波和恵（幹事）

I. 理事長より挨拶

- ・第 71 回大会が終了したので、会則により副理事長が嘉部和夫第 71 回大会委員長から星野仁彦第 72 回大会準備委員長に交代した。また、柏木恵子第 73 回大会準備委員長が常任理事に就任されたことが紹介され、柏木恵子常任理事が、就任の挨拶をされた。
- ・今回から議事録を開催後約 1 ヶ月位のうちに各常任理事に送付し、確認してもらうことにした。

II. 報告事項

1. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（荻野委員長）

- ・「応用心理学研究」30 巻 1 号を 2004 年 12 月初旬に発行予定。なお、30 巻 1 号には、昨年亡くなられた名誉会員の松村康平先生の追悼文を掲載する。
- ・投稿論文の審査状況について説明があり、論文投稿の依頼があった。
- ・国際応用心理学会発表論文による投稿論文集の発行ならびに英文チェックの手続きについて説明があった。8 編の投稿があり、3 件を原著、2 件を資料として採択し、他の 3 編を不採択とした。
- ・「応用心理学研究」投稿要領を作成する。具体案については、現在、所委員を中心に検討中である。作成後発行される機関誌に投稿要領を掲載する。また、今後発行される会員名簿にも掲載する。
- ・学術著作権協会から依頼のあった出版物の複写権等委託済表示を次号より奥付のペー

- ジに掲載する。
- 2) 認定「応用心理士」認定審査委員会
(馬場委員長)
 - ・2004年度後期分の受付期間は10月1日～11月30日で、現在の申請者は2名である。
 - 3) 学会賞・奨励賞選考委員会
 - ・総会に欠席された所 正文氏への学会賞授与を12月25日の公開シンポジウムの際に行ってはどうかと岡村理事長より提案され、了承された。
 - 4) 国際交流委員会(長塚委員長)
 - ・国際応用心理学会大会について、アナウンスメントを取り寄せたことやシンポジウムの開催について検討中であることなど、報告があった。
 - 5) シンポジウム委員会(松浦委員長)
 - ・「高齢時代の健康とスポーツ」をテーマとしたシンポジウムについて、広報等の手続きに関する説明があった。ポスターを配布するとともに、チラシをニュースレター等に同封して会員に周知する予定である。また、学会以外に、地域等でも広報活動を行う。
 - ・2004年12月25日(土) 14時～16時30分、国土館大学(世田谷キャンパス・中央図書館地下・多目的ホール)において開催する。演者は次のとおりである。
 - *企画・司会: 所 正文(国土館大学教授)
 - *シンポジスト: 折原茂樹(国土館大学教授)・宮内康二(日成基礎研究所研究員)・時本識資(国土館大学教授)・永見宏行(世田谷区保健所所長)
 - *指定討論者: 谷口幸一(東海大学教授)
 - 6) 研修委員会(林委員長)
 - ・第71回大会における第3回研修会が滞りなく開催された。次回については今後検討予定である。
 - 7) 広報委員会(藤田委員長)
 - ・ニュースレター No. 11 には第71回大会の終了報告を掲載予定である。執筆者には11月初旬までの入稿を依頼している。
 - ・ニュースレター No. 12 は3月に発行予定。
 - 8) 倫理委員会(藤田委員長)
 - ・なし
 - 9) 諸規程整備検討委員会(浮谷委員長)
 - ・なし。
 - 10) 若手研究者支援委員会
 - ・岡村理事長から「嘉部和夫委員長から委員長交代依頼があったので、同委員会委員である田之内厚三氏を推薦したい」と提案があり、承認された。
 - 11) 第71回大会報告(外島大会事務局長)
 - ・大会2日間を合計して、参加者241名、発表者142名、懇親会参加者64名、研修会参加者75名であった。
 - ・発表件数は、ポスター発表66件、トークインならびにラウンドテーブル形式での発表28件、合計94件であった。
 - 12) 第72回大会(代理: 浮谷事務局長)
 - ・2005年9月34日開催の大会までのスケジュールについては、次のとおり説明された。
申込 5/31 締切・予稿集原稿郵送 7/9 締切・予稿集原稿 Web 7/20 締切
 - ・大会プログラム案について、以下のよう説明があった:
 - *特別記念講演: 柏木恵子(文京学院大学大学院教授)「発達・家族の心理学と地域福祉」
 - *特別招待講演: 瀧本孝雄(獨協大学教授)「大学生とメンタルケア」
 - *公開シンポジウムⅠ「血液型と性格の科学性について」大村政男(日本大学名誉教授)・浮谷秀一(東京富士大学教授)・藤田圭一(城西大学短期大学部教授); (話題提供者) 星野仁彦(福島学院大学教授)
 - *公開シンポジウムⅡ「福祉現場におけるメンタルケア」演者の一部は未確定
 - *ワークショップ1「子ども虐待への支援」
 - *ワークショップ2「愛着のタイプとその後の人間関係」: 藤原正子
 - *学会研修委員会企画第4回研修会「健康・心理療法」A・B 未定

- ・理事会・総会等の開催日の変更について、理事会での審議結果が報告され、了承された。

理 事 会：大会前日夕刻
 総 会：大会 1 日目昼食時
 懇 親 会：大会 1 日目夜
 常任理事会：大会 2 日目昼食時

III. 審議事項

1. 選挙制度について（岡村理事長）

- ・役員選出に選挙を実施するかについて、理事長より検討することが提案された。いくつかの意見が出されたが、常任理事会だけで審議を尽くすことは難しいので、選挙に関するワーキンググループを立ち上げることが提案され、承認された。メンバーとして、岡村理事長・浮谷事務局長・内藤常任理事・荻野常任理事が推薦された。他に大坊常任理事または蓮花常任理事が候補にあがった。メンバーの決定は、理事長に一任することになった。

2. 各種規程の整備について（浮谷委員長）

- ・各委員会で個別に規程の検討を行うよう依頼があった。また、現在の各種規程を常任理事に送付するので検討をお願いしたい。次回、常任理事会にて審議の予定。

3. 新入会員審査および会員異動について

- ・新入会希望者 6 名について審査し、下記の 5 名について入会が承認された。なお、1 名については、入会条件を満たしているか本人に確認の上、満たしている場合には承認することとした。

佐藤敦子、三浦公一、庄司俊幸、岡田耕一、
 上村佳世子

4. その他

- ・理事会(2004.9.4)承認事項のうち、下記の新入会希望者 4 名について、常任理事会として承認を確認。

柏木恵子、伊坂裕子、佐藤初美、谷岡美佐枝

* 次回常任理事会は 12 月 25 日(土) 午前 11 時より
 国土館大学において開催される予定である。

2004 年度第 4 回常任理事会議事録

日 時：2004 年 12 月 25 日(土)

午前 11 時～午後 1 時

場 所：国土館大学 5 号館第 1 会議室

出席者：岡村一成理事長、稲毛教子、浮谷秀一、大橋信夫、荻野七重、垣本由紀子、鈴木由紀夫、大坊郁夫、田之内厚三、所 正文、外島 裕、長塚康弘、馬場房子、林 潔、松浦常夫、玉井 寛(星野仁彦代理)、松田浩平(柏木恵子代理)

委任状：神作 博、坂野 登、内藤哲雄、藤田主一、南 隆男、蓮花一己

事務局：浮谷秀一(事務局長)、伊波和恵(幹事)

I. 理事長挨拶

II. 報告事項

1. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（荻野委員長）

- ・「応用心理学研究」30 巻 1 号を 2004 年 12 月に発行。
- ・投稿論文の審査状況について説明があり、論文投稿の依頼があった。
- ・「応用心理学研究」投稿・執筆規程(案)を作成した(別紙資料)。日本心理学会による投稿・執筆の手引きに準じている。心理学関係諸学会の例をふまえて、投稿申込書を新たに設けたり、引用文献リストに Online journal の記載書式を掲載したりすることについて議論がなされた。この件については、次回の常任理事会において提案する。

2) 認定「応用心理士」認定審査委員会

(馬場委員長)

- ・2004 年度後期分の認定がなされた。エントリーは 5 名であり、5 名とも認定された。この結果については、「応用心理学研究」ならびにニュースレターに掲載する。
- ・2005 年度前期分の受付は 4 月 1 日～5 月末日の予定である。

3) 学会賞・奨励賞選考委員会（垣本委員長）

- ・所正文氏への学会賞授与式を、本日 12 月 25 日の公開シンポジウム開始前に行う。

4) 国際交流委員会（長塚委員長）

5) シンポジウム委員会（松浦委員長）

- ・本日 12 月 25 日(土) 14 時～16 時 30 分、

国士舘大学（世田谷キャンパス・中央図書館地下・多目的ホール）において「高齢時代の健康とスポーツ」をテーマとした公開シンポジウムを開催する。

- ・公開シンポジウム終了後、17時より「カフェアトモスフェール」において懇親会を行う。

6) 研修委員会（林委員長）

- ・第73回大会中の研修会について、1テーマはマイクロカウンセリング（講師：福原真知子氏）に決まった。もう1テーマは、現在講師と交渉中である。12月28日委員会を予定している。

7) 広報委員会（代理：浮谷事務局長）

- ・ニュースレター第11号は12月に発行した。
- ・ニュースレター第12号は3月に発行予定である。

8) 倫理委員会（代理：浮谷事務局長）

- ・報告事項はなし。

9) 諸規程整備検討委員会（浮谷委員長）

- ・報告事項はなし。

10) 若手研究者支援委員会（田之内委員長）

- ・常任理事会終了後、第1回の委員会を開催する。

11) 第72回大会（代理：玉井寛大会事務局長）

- ・第72回大会開催までのスケジュールについて、次のとおり説明があった。

①第1号通信を4月に発送する。

②大会参加・発表の申し込み締め切りは、郵送の場合5/20、Webの場合5/31。

③6/10頃発表申込者にのみ第2号通信（諸経費振込票・発表論文作成資料を封入）を送付。

発表論文原稿締め切りは、郵送の場合7/15、Webの場合7/20。

- ・発表申し込みに関する従来との変更点について説明があった。
- ・大会前日の9月2日に常任理事会を開催する準備をしていると説明があった。

12) 日本心理学諸学会連合（稲毛常任理事）

- ・12月13日、理事会（通算13回目）が行われた。

- ・会則19条改定の審議がなされ、投票の結果、承認された。

- ・「心理学検定(仮称)」に関する事業について、2005年4月、正式に検定局（事務局）組織が発足することとなった。検定資格は大学卒業レベルになると想定されるが、資格の位置づけ等については今後も検討される予定である。なお、現在、作問委員選定等の作業も進行中である。

- ・「認定心理士」資格の委譲に関する交渉の現状について説明があった。

- ・「痴呆症」が「認知症」と名称変更されることについて、日本認知心理学会を中心に、「認知失調症」という名称を提案する趣旨の意見書がまとめられた。その提出に賛同の意を示した。

III. 審議事項

1. 役員選出方法について（浮谷座長）

- ・前回の常任理事会での提案を受けて、選挙に関するワーキンググループが発足した。メンバーは岡村理事長・浮谷事務局長・内藤常任理事・荻野常任理事・大坊常任理事であり、浮谷事務局長が座長に指名された。

- ・選挙制度の導入について審議され、役員選挙を実施することが承認された。また、選挙によって定数すべてを決めるのではなく、定数の2/3を選挙によって決め、残りの1/3は選挙によって決まった理事が検討して決めるというワーキンググループからの提案があり、承認された。

- ・理事および常任理事の定数について、理事は約60名から36名に、常任理事は24名から15名に減数することが承認された。

- ・副理事長は、選挙で決定された常任理事の中から選出することが承認された。従来副理事長であった大会準備委員長は、大会開催日までの1年間、常任理事を務めることへの変更が承認された。

- ・事務局長は理事長の指名によって任命され、常任理事に加わることが承認された。

- ・これらの決定に基づいて、内規等を修正後、3月の常任理事会において確認する。

2. 各種規程の整備について（浮谷委員長）

- ・委員会規程のフォーマットが提案された。各委員会において検討し、2月末までにその結果を事務局までメールにて連絡するよう依頼がなされた。次回、常任理事会にて審議される予定。

3. 新入会員審査および会員異動について

- ・新入会希望の11名について審査し、10名を承認した。なお、1名については、記入漏れなどを確認の上、承認することが確認された。

高松正一、横井幸久、荒木晴海、長縄史子、伊藤香世子、豊田有紀、小山良子、山本明、満生英喜、東野文典

- ・12/24現在、会員数1,109名（内訳：正会員数1,063名、名誉会員42名、賛助会員4名）。入会者4名、退会者6名。

* 次回常任理事会は2005年3月4日（金）午後3時より東京富士大学において開催される。

2004年度第5回常任理事会議事録

日 時：2005年3月4日（土）

午後3時～午後5時

場 所：東京富士大学本館第2会議室

出席者：岡村一成理事長、稲毛教子、浮谷秀一、大橋信夫、荻野七重、垣本由紀子、鈴木由紀生、大坊郁夫、田之内厚三、外島 裕、内藤哲雄、長塚康弘、林 潔、藤田主一、松浦常夫、南 隆男、蓮花一己、玉井 寛（星野仁彦代理）

委任状：神作 博、坂野 登、所 正文、馬場房子、細江達郎

事務局：浮谷秀一（事務局長）

I. 理事長から

- ・昨年12月20日に亡くなられた田中熊次郎先生を偲ぶ会があり、学会としてはお悔やみのお手紙と御花を贈った。

II. 報告事項

1. 委員会報告

1) 編集委員会（荻野委員長）

- ・資料により編集状況について説明があった。Vol. 30 No. 1は3月中旬に発刊予定。Vol. 30 No. 2の年度内発刊は難しく、4

月発刊になる予定。

2) 研修委員会（林委員長）

- ・第72回大会における研修会講師は、大久保康彦先生（演題は未定）と福原真知子先生（マイクロカウンセリングについて）。

3) 広報委員会（藤田委員長）

- ・ニューズレター Vol. 12の年度内発刊は難しく、4月発行予定。改めて原稿提出依頼があった。

4) 倫理委員会（藤田委員長）

- ・現在規程を整備中。

5) 若手研究者支援委員会（田之内先生）

- ・委員会内審議の経過を説明するとともに、委員会で提案された3つの案（①大学院生の学会発表を審査して理事長賞を出す。②大学院生の次年度学会発表予定の研究計画書を審査して研究費補助を出す。③大学院生の大会における研究発表費を無料にする）を常任理事会へ提出して、常任理事の意見を伺った。いくつかの意見とともに、ポスターの作製、パンフレットの作成、ワークショップや自主シンポジウム企画への補助などの提案があり、これらをふまえて再提案をすることになった。

6) 国際交流委員会（長塚委員長）

- ・アテネの国際応用心理学会への参加を呼びかけた。

2. 2004年度第71回大会の報告について（嘉部委員長）

- ・71回大会の決算報告がなされ、Webシステムを導入したことによる赤字を補填してもらえないかと要請があった。Webシステムについて国際文献印刷社に確認の上、赤字分を学会予備費から補填することが承認された。

3. 2005年度第72回大会の報告について（玉井大会事務局長）

- ・1号通信発行が4月中旬になるとの報告に対して、常任理事会として3月中の送付を依頼した。その他、大会の日程予定が報告されたが、個人の研究発表と特別講演・公開シンポジウムなどとの組み合わせ方について再検討の要請があり、検討してもらうことになった。また、第72回大会においても、Webの

申し込みを継続することが確認された。

III. 審議事項

1. 会則改正について

- 前回の常任理事会で承認された選挙実施に関連した部分を改訂した「会則改正案」を審議し、承認された。改正点は、次の4点である。
①理事の人数を「若干名」から「36名」にした。
②副理事長を常任理事の互選にした。
③理事および監事を会員の中からの互選にした。
④その他、内容変更を伴わない条文の整備（年次大会の条文の整備、名誉会員も新入会の推薦者になれる、事務局の住所変更）。改正案は別紙のとおりである。

2. 各種規程の整備について

- すべての委員会から改訂案が提出されていなかったので次回審議するとともに、今回承認された会則に基づいた選挙役員規程(案)についても審議することにした。

3. 新入会審査および会員異動について

- 下記の8名について審査の結果、全員承認された。

山本佳恵, 坂本正裕, 青木憲樹, 龍 祐吉,
小川内哲生, 幸野里寿, 永久ひさ子, 閻
喜

* 次回の2005年度第1回常任理事会は5月20日（金）午後6時から東京富士大学において開催する。

日本応用心理学会 第70回大会報告書

大会開催内容:

ポスター発表	93 件	特別講演	
口頭発表	37 件	記念講演	1 件
若手研究者のワークショップ	(4 件)	招待講演	1 件
発表	10 件	シンポジウム	3 件
総発表件数	140 件	第2回研修会	2 件
公式記録(取り消し2件)	138 件		

大会参加者:

会員(有料)	225 名
名誉会員(ご招待)	16 名
院生・学生会員(有料)	38 名
非会員(院生も含む 有料)	18 名
臨時会員(有料)	17 名
シンポジスト・講演者(非会員)	7 名
大会準備委員会の招待者	35 名
公開講演・シンポジウム参加者(窓口受付 無料)	146 名
参加人数合計	502 名

懇親会(新神戸オリエンタルホテル)参加人数:

会員(有料)	103 名
名誉会員(ご招待)	15 名
非会員(有料)	4 名
大会準備委員会による招待者(後援団体、賛助団体など)	30 名
参加人数合計	152 名

研修会:

予約	75 名
当日	22 名
参加人数合計	97 名

* 取り消しとワークショップ講演者の変更

第1日 9月5日(金)

ポスター発表について(取り消し)

当日、発表者が欠席のため、下記発表は発表取り消しと判断致しました。

A-1 幼児期における泥だんご作りの発達的研究

近畿大学豊岡短期大学 幼児教育学科 穂原 弓子氏

C-6 チーム評価に関する研究—百貨店における調査—

亜細亜大学大学院 経営学研究科 山崎 文子氏

第2日 9月6日(土)

ワークショップ「小講演と討議」について(講演者の変更)

人事・教育分野でのアセスメントツールの開発と活用は、中島氏が勤務先の都合で出席ができない旨申し出があり講演者を下記演者に変更、大会準備委員会ではこれを止むを得ない理由と判断し、変更を承認致しました。

当初予定の講演者 B: 中島彩花氏((株)日本経営協会総合研究所)は、講演者 B: 西田豊昭氏(宇部フロンティア大学)に変更。

日本応用心理学会第 70 回大会決算報告

2004.04.20.

収 入			支 出	
摘 要		金額	摘 要	金額
大会参加費		1,508,500	印刷費	1,469,818
会員（予約）	5,000 円×180 名	900,000	1 号通信（案内文・封筒）	58,905
会員（当日）	6,000 円× 31 名	186,000	2 号通信（各用紙・封筒）	181,020
院生・学生（予約）	2,500 円× 37 名	92,500	ポスター（大・小）	110,250
院生・学生（当日）	3,000 円× 1 名	3,000	プログラム発送用封筒	37,800
非会員（予約）	6,000 円× 17 名	102,000	プログラム	414,750
非会員院生（予約）	3,000 円× 1 名	3,000	論文集	471,450
臨時会員（一般）	4,000 円× 5 名	35,000	手提袋	134,400
臨時会員（一般 1 日）	3,500 円× 3 名	10,500	コピーなど	61,243
臨時会員（院生・学生）	3,500 円× 3 名	10,500	通信費	516,191
臨時会員（院生・学生 1 日）	2,000 円× 6 名	12,000	1 号通信	88,000
ワークショップ	11,000 円× 14 名	154,000	2 号通信	150,500
発表費（連名発表費）		919,000	プログラム・論文集	152,600
会員	5,000 円×167 名	835,000	その他	125,091
非会員	6,000 円× 14 名	84,000	謝金（講師・シンポジスト）	828,000
論文集代		403,000	交通費（講師・シンポジスト）	110,600
予約	5,000 円×53 冊	265,000	総会費	480,000
当日	6,000 円×23 冊	138,000	ワークショップ宿泊費	98,800
プログラム代	1,000 円×13 名	13,000	懇親会費	1,228,008
懇親会費		564,000	準備委員会運営費	414,261
会員（予約）	6,000 円×59 名	354,000	消耗品費	325,045
会員（当日）	7,000 円×13 名	91,000	学生謝金	320,000
院生・学生（予約）	3,000 円×29 名	87,000	渉外費	204,549
院生・学生（当日）	4,000 円× 4 名	8,000	手数料	11,655
非会員（予約）	4,000 円× 4 名	24,000	税金・印紙代	62,555
研修会費		59,000	若手育成基金	1,400,000
予約	500 円×75 社	37,000		
当日	1,000 円×22 社	22,000		
協賛金・寄付金		3,202,965		
学会本部補助金		700,000		
流通科学大学援助金		100,000		
利子		17		
収入合計		7,469,482	支出合計	7,469,482

日本応用心理学会第 70 回大会の収支について、以上のとおりご報告いたします。

2004 年 2 月 20 日

経理責任者

大会会長

藤本次郎 ㊞

森下高治 ㊞

上記、第 70 回大会収支決算書は、適正に経理処理が行われていることを証明いたします。

2004 年 2 月 20 日

会計監査

蜂屋 真 ㊞

日本応用心理学会 2003 年度決算

収 入			支 出		
項 目	決算額	予算額	項 目	決算額	予算額
会費	6,198,000	5,940,000	第 70 回大会補助費	700,000	700,000
過年度分	708,000	600,000	学会賞・奨励賞	100,000	100,000
本年度分	5,490,000	5,340,000	心理学諸学会連合	45,000	45,000
			シンポジウム・講演費謝金	140,360	300,000
賛助会費	30,000	60,000	研修会講師謝金	60,000	100,000
			国際交流費	0	300,000
			「応用心理士」関係経費	691,706	850,000
「応用心理士」関係	1,360,000	1,200,000	委員会活動費	321,563	850,000
審査料	370,000	300,000	機関誌編集委員会	58,334	200,000
認定料	990,000	900,000	学会賞・奨励賞選考委員会	55,225	50,000
			シンポジウム委員会	134,404	150,000
寄付金	1,400,000	0	国際交流委員会	44,120	100,000
(第 70 回大会より			広報委員会	16,150	100,000
若手育成基金として)			研修委員会	11,920	100,000
雑収入	228,296	250,000	倫理綱領作成委員会	1,410	100,000
			諸規程整備検討委員会	0	50,000
名簿作成積立金取り崩し	0	1,000,000	印刷費	1,289,767	3,400,000
			機関誌	980,437	1,500,000
			広報関係	190,890	200,000
			名簿作成費	0	1,200,000
			その他	118,440	500,000
			通信費	646,090	600,000
			機関誌郵送費	230,140	200,000
			広報関係郵送費	84,170	250,000
			その他(名簿他)	331,780	150,000
			常任理事交通費	779,300	800,000
			事務局運営費	565,930	500,000
			事務局委託費(アルバイト費)	701,883	1,000,000
			予備費	0	761,159
小計	9,216,296	8,450,000	小計	6,041,599	10,306,159
前年度繰越金総額	5,356,159	4,356,159	次年度繰越金総額	8,530,856	2,500,000
名簿作成積立金	1,000,000	0	名簿作成積立金	1,500,000	500,000
特別企画積立金	1,500,000	1,500,000	特別企画積立金	2,000,000	2,000,000
前年度繰越金	2,856,159	2,856,159	次年度繰越金	5,030,856	0
合計	14,572,455	12,806,159	合計	14,572,455	12,806,159

以上のとおり相違ありません。

2004 年 8 月 11 日

監査委員

藤森立男 ㊞

監査委員

高石光一 ㊞

日本応用心理学会 2004 年度予算書

収 入			支 出		
項 目	予算額	前年度決算額	項 目	予算額	前年度決算額
会費	5,760,000	6,198,000	第 71 回大会補助費	700,000	700,000
過年度分 (80 名)	480,000	708,000	学会賞・奨励賞	100,000	100,000
本年度分 (880 名)	5,280,000	5,490,000	心理学諸学会連合	45,000	45,000
			シンポジウム・講演費謝金	300,000	140,360
			研修会講師謝金	100,000	60,000
賛助会費	30,000	30,000	国際交流費	300,000	0
「応用心理士」関係	1,000,000	1,360,000	「応用心理士」関係経費	700,000	691,706
審査料	250,000	370,000			
認定料	750,000	990,000	委員会活動費	900,000	321,563
			機関誌編集委員会	200,000	58,334
寄付金	0	1,400,000	学会賞・奨励賞選考委員会	50,000	55,225
雑収入	200,000	228,296	シンポジウム委員会	150,000	134,404
名簿作成積立金取り崩し	1,000,000	0	国際交流委員会	100,000	44,120
			広報委員会	100,000	16,150
			研修委員会	100,000	11,920
			倫理委員会	100,000	1,410
			諸規程整備検討委員会	50,000	0
			若手研究者支援委員会	50,000	
			印刷費	3,400,000	1,289,767
			機関誌	1,500,000	980,437
			広報関係	300,000	190,890
			名簿作成費	1,200,000	0
			その他	400,000	118,440
			通信費	850,000	646,090
			機関誌郵送費	250,000	230,140
			広報関係郵送費	200,000	84,170
			その他	400,000	331,780
			常任理事交通費	900,000	779,300
			事務局運営費	700,000	565,930
			事務局委託費	1,000,000	701,883
			大会参加 Web システム開発費	400,000	
			予備費	225,856	0
小計	7,990,000	9,216,296	小計	10,620,856	6,041,599
前年度繰越金総額	7,530,856	5,356,159	次年度繰越金総額	4,900,000	8,530,856
名簿作成積立金	500,000	1,000,000	名簿作成積立金	1,000,000	1,500,000
特別企画積立金	2,000,000	1,500,000	特別企画積立金	2,500,000	2,000,000
			若手育成基金	1,400,000	
前年度繰越金	5,030,856	2,856,159	次年度繰越金	0	5,030,856
合計	15,520,856	14,572,455	合計	15,520,856	14,572,455

名誉会員規程

第1条 本学会会則第4条に基づく名誉会員はこの規程の定めるところによる。

第2条 名誉会員の候補者は、前年度末(3月31日)の時点で、満70歳に達している正会員の中より、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 本学会理事長経験者(1期以上)
- (2) 常任理事経験者(通算2期以上)
- (3) その他、本学会に特に顕著な功労があったと認められる者

第3条 常任理事会は名誉会員候補者を理事会に提案する。

- 2 理事会の議を経た上で総会の承認を得た者を名誉会員に推戴する。

第4条 名誉会員には、名誉会員称号証書の交付を行う。

第5条 名誉会員は、推戴の次年度以降の年会費を免除する。

- 2 年次大会における研究発表と学会誌への投稿は、正会員と同等の資格を有する。
- 3 年次大会および懇親会に招待する。また、大会参加時に論文集を贈呈する。

附則1 平成15年4月1日以前の役員経験者については、常任理事会で審議する。

- 2 本規程は、平成16年4月1日より施行する。